会員
(R3.04.01 現在)
2,032 人
<1～54 期>

岐阜高専 電気情報工学科同窓会

「電苑」会報

特別号(2021年4月)

R3.4.5発行

岐阜高専
電気情報工学科同窓会
電苑編集委員会
ホームページ
「電苑」URL
https://www.den-en.org/
電苑 検索

入学おめでとうございます

1. 新入生の皆さんへ

新入生の皆さん、岐阜高専への入学おめでとうございます。心からお祝いを申し上げます。高専生になって、やりたいことが沢山あると思います。是非、初心を忘れることなく、先ず勉学に、そしてクラブ活動やその他の活動に、有意義な学生生活を送って戴きたいと思います。

さて、皆さんの電気情報工学科は、岐阜高専創立以来の歴史を持ち、2000名を超える先輩がいます。そして、学科には同窓会組織『電苑』があり、電気情報工学科との提携並びに、会誌や会報の発行、HPの運営、合同クラス会(不定期)の開催、そして、全学同窓会「若鮎会」への協力などの活動を行っています。少しずつで結構ですので同窓会にも関心を持ち、誇りを持った卒業生となれるよう高専生活をスタートして下さい。

なお、同窓会HP『電苑』には、次のような情報がアップされていますので、是非、アクセスしてみて下さい。

(1) アクセス方法 ：検索ツールで”電苑”と入力するか、右上のURLにアクセスしてください。

(2) 主な内容

- ”TOPICS”欄 ：同窓会や学科内関係の新着情報
- ”電苑”欄 ：同窓会誌「電苑」(2013～2020 年)の目次
- ”掲示板”欄 ：各期や同窓会全体の連絡用掲示板
- ”FROM/TO”欄 ：同窓会役員や各期幹事の名簿・会費納入や事務局連絡など

2. 同窓会組織「電苑」による主な電気情報工学科への支援活動

本学科同窓会「**電苑**」による主な**現役学生への支援活動**を紹介します。

(1) 学科ノベルティの寄附 ：クリアファイル、マーカーペン、トートバッグ等の学科への寄附を継続しています。

(2) iCircuit 等学修環境への助成：学科の学修環境改善のため、予算の一部または全額を寄附しています。

(3) 学生の活動助成：学生の顕著な活動を一部予算的に支援し表章等で可視化しています。

(4) 合同クラス会の開催：合同クラス会への教職員・学生の参加を、予算的に支援しています。

(5) 若鮎会と連携した支援：全学同窓会と連携した学生支援を今後とも充実させます。

(6) その他の支援：現役学生と卒業生の繋がりを今後より充実させていく予定です。ご要望をお知らせ下さい。

3. 保護者の皆さんへ

ご息女・ご子息の**同窓会「電苑」への会費納入についてご協力頂ければ幸い**です。また、ご意見・ご要望につきましては、下記の連絡先にお知らせください。同窓会費の多くは現役学生の支援にも使われています。また、卒業生による講演会の一部を、保護者へも公開しています。高専卒業後のご息女・ご子息の活躍のイメージを膨らませて下さい。 同窓会『電苑』の連絡先 E-mail：info@den-en.org.

なお、電苑への会費納入についての詳細は、「電苑」CDや、電苑ホームページの「FROM/TO 事務局」欄下方の“納入方法“記事をご覧ください。会員コードは R3Eガクセイシメイ で結構です。同時配付しました「**電苑 2020**」には、前年度で定年退職された所名誉教授による「**電気回路の例題と演習**」を添付しています。これは高専で学ぶ電気回路を全国 No.1 とするための教科書です。是非、岐阜高専の誇る**全国高専最先端の ICT 活用教育環境を活用した学修内容**をご確認下さい。

追記　新入生及び保護者の皆様へ

（新入生の皆さんは保護者の方へもぜひ読んで貰って下さい）
電気情報工学科　同窓会長　所　哲郎

１年以上たっても新型コロナウィルスの影響は、益々我々の社会生活や学生の教育に陰を落としつつあります。非常事態宣言は年度末に解除となりましたが、今後も感染拡大が危惧される事態が続いています。岐阜高専は校長のトップ判断で、この非常事態への対応を進めています。いつもは３月のオリエンテーションなどで、同窓会の内容を紹介する「電苑」５年分をお渡しし、同窓会への加入をお願いしていますが、本年度はお渡しできていません。学校が開校されたら電苑 2020 をお渡しします。また、全学同窓会「若鮎会」に関しては、別途連絡が行っているかと思います。

前ページのように、電気情報工学科同窓会は、在学学生の学修環境支援の他、多くの地域貢献活動を行っています。また、岐阜工業高等専門学校は「文部科学省ＡＰ事業」を６年間に渡り実施し、ICT 活用教育支援環境で全国 No.1 を目指してきました。最終年度の報告書５章に本校情報処理センターのシステムの紹介、３章には所からの挑戦課題があります。コロナ禍のリモート教育環境の充実で、岐阜高専では情報処理センターの最新の学修支援環境を、登校しなくてもリモートで活用できる環境が整っています。このリモート学修支援環境を全学生に提供できているのは、全国高専はもちろん大学を含めても希有な環境であると確信しています。更には、学修支援環境は学修コンテンツである教育支援資産が有って、初めて意味を成すものですが、岐阜高専は AP 事業の６年間を継続し、更なる教育資源の資産化を進めてきています。皆さんも是非、ＡＰホームページにアクセスし、岐阜高専の ICT 活用教育支援環境を覗いてみて下さい。既に皆さんの元にはＩＤとパスワードは送られています。

岐阜高専の電気情報工学科の学生は、既にほとんどの学生が個人端末を有しており、遠隔授業に対応できるものと思います。新一年生で自宅にパソコンや iPad 等が無い場合は、担任とも相談して下さい。学校側で可能な配慮が行われるものと思います。**電気情報工学科同窓会でも支援を実施していきます。**この難局は今年１年以上続くものと理解し、今できることの最善を皆さんとともに尽くしていきたいと思っています。

電気情報工学科　同窓会会長　所　哲郎　11 期ＯＢ
岐阜工業高等専門学校　電気情報工学科　名誉教授　所　哲郎
岐阜工業高等専門学校　教育ＡＰ推進室長（２０１４－２０２０、３月まで）

ＡＰ事業ホームページアドレス

http://www.gifu-nct.ac.jp/AP2014/　　全ては所が管理するこのページから移動できます

電気情報工学科同窓会「電苑」支援活動に関するお問い合わせ先：

tokoro@gifu-nct.ac.jp　メールにて所まで。

岐阜高専の LMS　https://lms.gifu-nct.ac.jp/

ご家庭にパソコンなどのネット環境がある場合：遠隔授業を聞くだけですと１台で結構ですが、できれば２台用意して、１台は情報処理センターのパソコンにリモートアクセスして、成果報告書の Mathcad の利用などを並行して行えるのが、最高の学修環境です。推奨機器は高専機構で一括購入などの検討が今後進むと思います。

令和３年４月５日　所　哲郎